



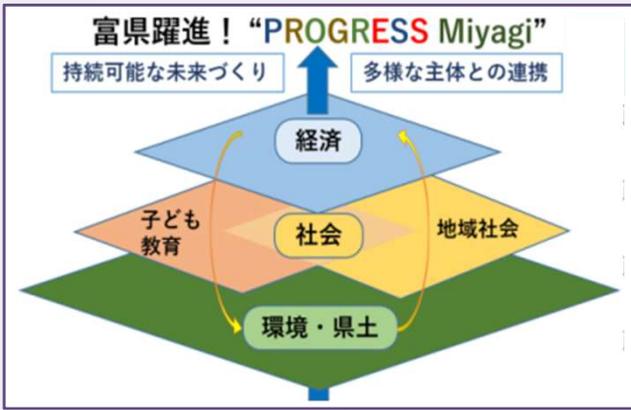
令和5年度 宮城県 土木部 事業概要



～次世代に「安全・安心」と「活力」を引き継ぐ「持続可能」な宮城の県土づくり～



「新・宮城の将来ビジョン」



「持続可能な未来」のための8つの「つくる」

政策推進の基本方向 1 富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進

政策推進の基本方向 2 【新規】社会全体で支える宮城の子ども・子育て

政策推進の基本方向 3 誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会づくり

政策推進の基本方向 4 強靱で自然と調和した県土づくり

つくる1 新しい価値 Produce/Promotion	つくる2 成長の基礎 Sustainable growth
つくる3 子育て Support a new generation	つくる4 教育 Education
つくる5 いきいき Richness	つくる6 安全安心 Good health/Good life
つくる7 自然と共存 Only one Earth	つくる8 県土 Resilience

「宮城県土木・建築行政推進計画(2021～2030)」

～次世代に「安全・安心」と「活力」を引き継ぐ「持続可能」な宮城の県土づくり～

〈基本方針〉 ～みらいのための新しいインフラ整備に向けて～



今後10年間で目指すべき社会資本整備の方向性

強靱で安全・安心な県土づくりの推進

宮城の活力を支える 戦略的インフラマネジメントの推進

多様な主体と連携した持続可能な 人づくり・地域づくりの推進

基本目標1

自然災害リスクの増大を踏まえた防災・減災対策による県土の強靱化

- (1) 総合的な豪雨災害対策等の推進
- (2) 大規模災害に備えた防災態勢の強化
- (3) 耐震化対策の推進



基本目標2

富県躍進を支える交流・産業基盤の整備

- (1) 東北の発展を支える基幹的社会資本整備の推進
- (2) 地域の発展を支え、地域間連携を強化する社会資本整備の推進
- (3) 交流人口拡大に向けた社会資本整備の推進



基本目標3

多様な主体と連携した持続可能な地域生活基盤の整備

- (1) 地域住民等と連携・協働した社会資本整備の推進
- (2) 安全・安心で快適なまちづくりの推進
- (3) 環境に優しく景観と調和した社会資本整備の推進



基本目標4

加速化するインフラの老朽化に対応した戦略的ストックマネジメントの推進

- (1) 公共土木施設・建築物の適正かつ効率的・持続的な維持管理の推進
- (2) 公共土木施設・建築物の長寿命化対策の推進
- (3) 新技術を活用したインフラの更新・管理



基本目標5

持続可能な宮城の県土づくりを支える人材育成と生産性の向上

- (1) 建設企業の技術力・経営力の向上と担い手の確保
- (2) 建設産業の働き方改革等の推進
- (3) 社会資本整備を牽引する職員の育成



令和5年度土木部主要事業概要

基本目標 1



名蓋川河川災害復旧



工事前



橋梁耐震化工事後

- ・一級河川鳴瀬川水系名蓋川等、水害常襲河川の重点整備
- ・あらゆる関係者と連携した流域治水対策の推進
- ・緊急輸送道路上の橋梁における耐震化の推進
- ・市町村と連携した木造住宅の耐震改修工事の促進
- ・危険なブロック塀等の除去、スクールゾーン内の安全対策の促進

基本目標 2



(仮称)栗原インターチェンジ整備



高砂コンテナターミナル拡張

- ・みやぎ県北高速幹線道路と東北縦貫自動車道を結ぶ(仮称)栗原インターチェンジの整備
- ・仙台塩釜港における岸壁整備、コンテナターミナル拡張
- ・仙台国際空港就航先における空港貨物取扱量拡大に向けた取組(県産品フェアの開催など)

基本目標 3



松島町交通社会実験



整備前



通学路の歩道整備後

- ・児童や生徒を交通事故から守るための通学路の歩道整備
- ・子どもたちが自由な発想で遊ぶことができるプレイパークの新設
- ・地域の魅力向上に向けて、安全安心で賑わいのある道路空間を構築するため、松島町交通社会実験を実施

基本目標 4



通報アプリの導入



ドローンを活用した点検

- ・道路などの異常箇所をスマートフォンアプリから通報できるシステムの導入
- ・AIやドローン等の新技術を活用した効率的な道路管理や橋梁点検の実施
- ・各インフラの予防保全型維持管理への移行

基本目標 5



土木部職員の人材育成



市町村支援、パートナーシップ強化

- ・公共工事における週休2日制の導入や、ICTの活用促進による労働環境の改善や生産性の向上
- ・新技術や災害等に的確に対応できる土木部職員の人材育成
- ・技術職員が少ない市町村への支援、パートナーシップの強化

令和5年度予算

県全体予算

I 予算編成の基本的考え方

令和5年度当初予算では、「宮城の将来像」の実現に向け、富県躍進を志向する取組の推進、若者の県内定着や子ども・子育てを社会全体で支える環境整備など、次の世代を育成・応援する事業を重点的に予算化。また、あらゆる分野でのICTなどデジタル技術のフル活用に向け、社会や生活のこれまでの在り方を変容するDX(デジタル・トランスフォーメーション)への投資に予算を措置。あわせて、頻発化・激甚化する自然災害に備え、防災・減災に向けた対策への適切な予算措置を行うとともに、脱炭素社会の実現に向けた対策や、復興の完了に向けては被災者の心のケアなど実情に応じたきめ細かな対策を予算化。

II 当初予算の規模(一般会計)

10,792億円

(単位:億円)

一般会計の規模は	1兆 792億円	(対前年度比 ▲354億円(▲ 3.2%))
通常分	1兆 568億円	(対前年度比 ▲300億円(▲ 2.8%))
震災対応分	224億円	(対前年度比 ▲ 54億円(▲19.5%))
総会計では	1兆5,681億円	(対前年度比 ▲203億円(▲ 1.3%))
通常分	1兆5,427億円	(対前年度比 ▲139億円(▲ 0.9%))
震災対応分	255億円	(対前年度比 ▲ 64億円(▲20.1%))



土木部予算

I 予算編成方針(土木部)

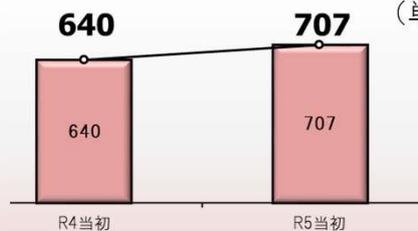
土木部では、**発足90周年を迎える令和5年度**も引き続き、未来のための新しいインフラ整備に向けて着実な推進を図っていくこととし、『次世代に「安全・安心」と「活力」を引き継ぐ「持続可能」な宮城の県土づくり』を基本理念として、「強靱で安全・安心な県土づくりの推進」、「宮城の活力を支える戦略的インフラマネジメントの推進」、「多様な主体と連携した持続可能な人づくり・地域づくりの推進」の3つの基本方針のもと、緊急性や重要性及び投資効果の高い事業への重点化を進め、事業効果の早期発現を目指すとともに、**これまで以上にDXの取組と働き方改革を進めるための事業を積極的に予算化。**

II 当初予算の規模

707億円

(単位:億円)

一般会計は	640億円	(対前年度比 70億円(12.3%))
特別会計は	67億円	(対前年度比 ▲ 3億円(▲ 5.1%))
総会計では	707億円	(対前年度比 67億円(10.4%))



宮城県土木・建築行政推進計画 (2021~2030)

令和3年度からの10年間に取り組む社会資本整備の基本理念や運営方針です。



宮城県土木・建築行政推進計画 (2021~2030) アクションプラン

10年間の推進計画のうち、前期4年の具体的な取組内容です。



宮城県土木部技術職PR動画をYouTubeで配信中

宮城県土木部では、私たちと一緒に働く「総合土木」、「建築」、「電気」、「機械」の技術系公務員を募集しています。

技術系公務員を目指す皆さんのキャリアイメージにつながるように、土木部の組織や各職種の仕事内容などをわかりやすく紹介した動画コンテンツを配信しています。



総合土木・建築・電気・機械の技術系公務員を目指す方々へ

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/doboku-madoguchi.html>

ミヤギのドボク